

令和3年度第2回  
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和3年5月17日（月）15：00～16：09
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者  
委 員：片桐学長（議長）、川嶋副理事長、平田副学長（理事）、佐藤（任）事務局長（理事）、三上副学長（情報ライブラリー長）、稲村研究科長、木村学科長、佐藤（直）学科長、富永メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
- オブザーバー：長崎高度ICTコース長、鈴木（昭）教務委員長、迎山学生委員長、岡本教授、由良入試委員長、藤野教授
- 事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤（修）財務・研究支援課長、亀田教務課長

4 議 事

（1）審議事項

- ① 富士サファリパークとの事業連携に関する協定締結について
- ・ 岡本教授から、資料1に基づき、富士サファリパークとの事業連携に関する協定締結について説明があり、原案のとおりに了承された。
- ② 教員公募について
- ・ 川嶋人事委員長から、当日配付資料に基づき説明があった。応募書類の提出に電子申請を利用することと複雑系知能学科公募内容の一部訂正について確認があり、公募手続きを進めることが了承された。選考委員会の設置について、教授会までに学長の指名による委員会のメンバーを選出することとなった。
- ③ 学生の休学取消について
- ・ 片桐学長から、学生の休学取消について経緯の説明があり、意見交換がされ、やむを得ない状況等を勘案し、教育的配慮として休学を取消とすることで了承された。

（2）報告事項

- ① 令和4年度学校推薦型選抜における指定校について
- ・ 由良入試委員長から、資料2に基づき、令和4年度学校推薦型選抜における指定校について報告があった。学長から、推薦枠人数は各高校に訪問し資料を渡して伝えているが、今年度の対応について質疑があり、訪問を予定していたが新型コロナウイルスの感染状況が変化しているため検討したいとの回答があった。また、木村学科長から、推薦枠人数について確認があり、今年度は様々な理由を勘案して決定したが今後の見直しを具体的にどう行っていくかは検討課題となる旨の説明があった。

② 特別研究費の配分について

- ・ 川嶋副学長から、資料3に基づき、令和3年度特別研究費の配分について報告があった。

(3) その他

① 自習スペースの利用状況について

- ・ 富永メタ学習センター長から、今年度より1年生が気軽に相談できる窓口として、ライブラリーに先輩サポーターを設けた旨の報告があり、相談件数や自習スペース（講義室594とライブラリー）の利用状況について情報共有があった。学長から、先輩サポーターからチューターに応募してもらえるか確認があり、先輩サポーターに声をかけることとなった。川嶋副理事長から、一時的にオンライン対応にした場合について質疑があり、1度利用している学生はオンラインでも利用できると思うが、初めて利用する学生は先輩サポーターが誰か分からないためオンラインでは難しいと思うとの回答があった。また、繰り返し利用している学生の有無について、先輩サポーターに確認することとなった。